授業科目名・形態	助産診断・技術学Ⅱ（分娩の理論・フィジカルアセスメント）　講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	工藤 優子・石原 佳奈	実務経験の有無	有	開講期	4 年前期
科目ナンバリング	N5-4020m				

【授業の主題】

分娩期は人生のうちでも顕著な身体的・心理的・社会的・発達的変化を伴う時期であり、正常を逸すると母児の生命に直接的に大きな影響を及ぼす。この時期に助産師の行う診断とケアは、変化を正確に把握し適時に対応することが求められ、かつ現在および今後の健康状態の変化や経過を正確に予測した助産診断を行うことが極めて重要である。

本科目では、分娩期における助産診断の理論と技術を学び、産婦および新生児の支援の理解を深める。また、分娩期におけるハイリスク・異常分娩、救急処置などの基礎的知識と技術について学ぶ。

【到達目標】

1. 分娩期の助産診断について理解する。
2. 分娩期の産婦および出生直後の新生児の支援について理解を深める。
3. 分娩期におけるハイリスクおよび異常分娩、産科手術、産科救急について理解する。

【授業計画・内容】

第１回　分娩の生理	（　工藤　）
第２回　分娩期の助産診断①	（　工藤　）
第３回　分娩期の助産診断②	（　工藤　）
第４回　産婦の支援①	（　工藤　）
第５回　産婦の支援②	（　工藤　）
第６回　出生直後の新生児のケア	（　工藤　）
第７回　ハイリスク・異常分娩	（　石原　）
第８回　産科手術・産科的医療処置	（　石原　）

【授業実施方法】

講義

【事前・事後学習】

講義内容に関する事前学習を毎回２時間以上行うこと。
講義内容を踏まえ、復習を毎回２時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

基礎助産学、助産診断・技術学Ⅰ、女性の健康支援、助産診断・技術学Ⅲ

【教科書等】

助産学講座７　助産診断・技術学Ⅱ[2]　分娩期・産褥期　　医学書院
助産学講座８　助産診断・技術学Ⅱ[3]　新生時期・乳幼児期　医学書院
カラー写真で学ぶ　新生児の観察と看護技術　医歯薬出版
カラー写真で学ぶ　周産期の看護技　医歯薬出版
カラー写真で学ぶ　妊産褥婦のケア　医歯薬出版

【参考文献】

授業の中で適宜提示する。

【成績評価方法】

筆記試験 100%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

実務経験あり
助産師としての実務経験を踏まえ、事例などを提示し講義内容の理解が深まるように工夫している

【学生へのメッセージ】

分娩介助技術習得のために必要な知識です。これまで以上に予習・復習が重要になります。教科書や参考文献を活用した積極的な自己学習の積み重ねが必要です。各学習の機会を大切にし、効果的な学習ができるように努力しましょう。